

① 機種種(1)

NO.	機種種	床面積	間口	奥行	有効開口間口	積雪強度
1	SG-358TP	18.19㎡(5.51坪)	3246mm	5846mm	2780mm	<p>◆積雪強度◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般型：1200N/㎡ ・多雪地型：3000N/㎡ ・豪雪地型：4500N/㎡ <p>※安全のため、 一般型は60cm以上、 多雪地型は100cm以上、 豪雪地型は150cm以上 積もらないように雪降 ろしをしてください。</p>
2	SG-358GP					
3	SG-358TU					
4	SG-358GU					
5	SG-358TY					
6	SG-358GY					
7	SG-358TP-2	35.56㎡(10.77坪)	6246mm		2780mm	
8	SG-358GP-2				5550mm	
9	SG-358TU-2				2780mm	
10	SG-358GU-2					
11	SG-358TY-2					
12	SG-358GY-2					
13	SG-358TP-3	52.94㎡(16.04坪)	9246mm	2780mm		
14	SG-358GP-3			5550mm		
15	SG-358TU-3			2780mm		
16	SG-358GU-3					
17	SG-358TY-3					
18	SG-358GY-3					
19	SG-358TP-4	70.32㎡(21.31坪)	12246mm		2780mm	
20	SG-358GP-4				5550mm	
21	SG-358TU-4			2780mm		
22	SG-358GU-4					
23	SG-358TY-4					
24	SG-358GY-4					
25	SG-358TP-5	87.70㎡(26.57坪)	15246mm		2780mm	
26	SG-358GP-5				5550mm	
27	SG-358TU-5			2780mm		
28	SG-358GU-5					
29	SG-358TY-5					
30	SG-358GY-5					
31	SG-369TP-2	42.44㎡(12.86坪)	6246mm		6966mm	
32	SG-369GP-2					
33	SG-369TP-3	63.18㎡(19.14坪)	9246mm			
34	SG-369GP-3					
35	SG-369TP-4	83.92㎡(25.43坪)	12246mm	7806mm		
36	SG-369GP-4					
37	SG-378TP-2	47.60㎡(14.42坪)	6246mm			
38	SG-378GP-2					
39	SG-378TP-3	70.86㎡(21.47坪)	9246mm			
40	SG-378GP-3					
41	SG-378TP-4	94.12㎡(28.52坪)	12246mm	8646mm		
42	SG-378GP-4					
43	SG-386TP-2	52.76㎡(15.98坪)	6246mm			
44	SG-386GP-2					
45	SG-386TP-3	78.54㎡(23.80坪)	9246mm			
46	SG-386GP-3					

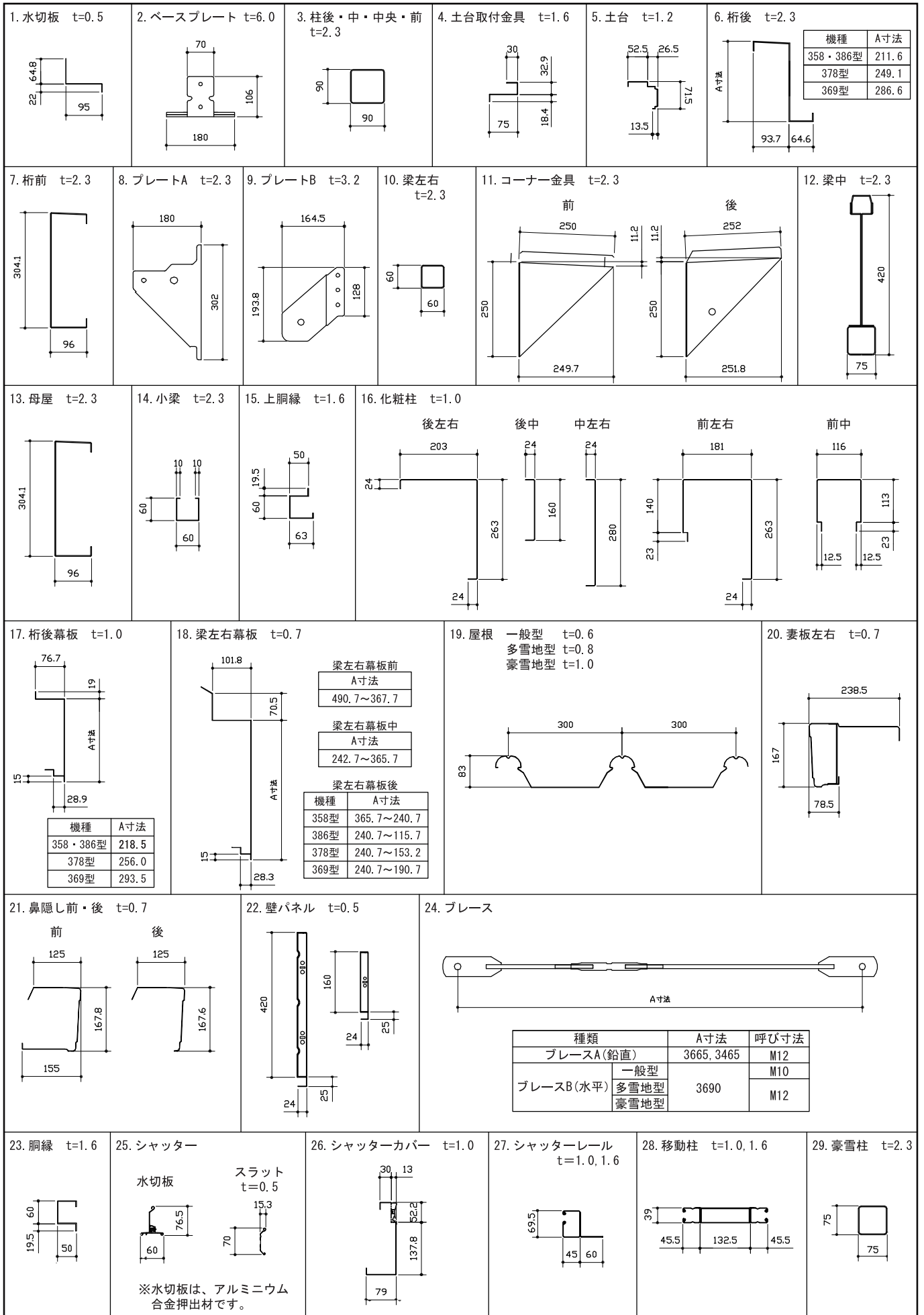
※型番の一番後ろにNまたはBが付きます。
例：SG-358TPN-2

② 主要部材仕様

品番	主 要 部 材	材 質	呼び厚さ (mm)
1	水 切 板	溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)	0.5
2	ベ ー ス プ レ ー ト	一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101)	6.0
3	柱 後・中・中央・前	一般構造用角形鋼管 (JIS G 3466)	2.3
4	土 台 取 付 金 具	溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)	1.6
5	土 台	〃	1.2
6	桁 後	溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)	2.3
7	桁 前	〃	2.3
8	プ レ ー ト A	〃	2.3
9	プ レ ー ト B	溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)	3.2
10	梁 左 右	一般構造用角形鋼管 (JIS G 3466)	2.3
11	コ ー ナ ー 金 具	溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)	2.3
12	梁 中	一般構造用角形鋼管 (JIS G 3466) 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)	2.3
13	母 屋	溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)	2.3
14	小 梁	〃	2.3
15	上 胴 縁	溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)	1.6
16	化 粧 柱 後 中 前	〃	1.0
17	桁 後 幕 板	〃	1.0
18	梁 左 右 幕 板	溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)	0.7
19	屋 根	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 (JIS G 3322)	0.6, {0.8}, [1.0]
20	妻 板 左 右	溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)	0.7
21	鼻 隠 し 前 後	〃	0.7
22	壁 パ ネ ル	溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)	0.5
23	胴 縁	溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)	1.6
24	ブ レ ー ス (JIS A 5540)	建築構造用圧延棒鋼 (JIS G 3138) 一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101)	屋根面:M10, 壁面:M12 [屋根面:M12, 壁面:M12] [屋根面:M12, 壁面:M12]
25	シ ャ ッ タ ー	塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3312)	0.5
26	シ ャ ッ タ ー カ バ ー	溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)	1.0
27	シ ャ ッ タ ー レ ー ル	塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3312)	1.0, 1.6
28	移 動 柱	溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)	1.0, 1.6
29	豪 雪 柱	一般構造用角形鋼管 (JIS G 3466)	2.3

{ }内は多雪地型、[]は豪雪地型を示す。
※JIS G 3317の指定建築材料認定番号:MSTL-0287

③ 主要部材断面図



④ 部品仕様

部品名	材質	表面処理・色
ボルト	冷間圧造用炭素鋼線材 (SWRCH 10R)	電気亜鉛めっき Ep-Fe/Zn [2~4-C2]
ネジ板	冷間圧延鋼板	
妻板キャップ	アルミニウム合金ダイカスト 12種	シャドーグレー(成形後、塗装)
換気ガラリ	アルミニウム合金押出型材	複合皮膜(陽極酸化皮膜+艶有クリア塗膜)
消音帯	ポリ塩化ビニル	白
ボルトキャップ	AES樹脂	シャドーグレー・ミストグレー
シャッターストッパーゴム	軟質塩化ビニル	ミストグレー
雨樋	ポリ塩化ビニル	白(SW)

⑤ 表面処理及び塗装

- (1) 塗装する素地は下地処理をするものとし、脱脂・水洗工程を経て燐酸亜鉛皮膜を形成する。
- (2) 塗料は高性能ウレタン樹脂・高耐候性粉体ポリエステルを使用し、静電塗装後熱風乾燥炉にて焼付けます。
- (3) 膜厚および塗装色は下表に示す通りです。
- (4) シャッターの塗装色は、ミストシルバーです。

塗装部品	膜厚		塗料	塗装色 (マンセル番号)
	屋外面	屋内面		
桁前	50 μm	50 μm	高耐候性粉体 ポリエステル樹脂	ミストグレー (N7)
梁中	〃	〃		
梁左右	〃	〃		
シャッターカバー	〃	〃		
柱後・中・中央・前	〃	〃		
豪雪柱	〃	〃		
化粧柱前	〃	〃		
母屋	—	〃		
妻板左右	30 μm以上	25 μm以上	高性能ウレタン樹脂	シャドーグレー (N5.25)
鼻隠し前後	〃	〃		ミストグレー (N7)
桁後幕板	〃	〃		
梁左右幕板	〃	〃		
桁後	〃	〃		
化粧柱後中	〃	〃		
土台	〃	〃		
壁パネル	〃	〃 (※)		

※印は、アクリル樹脂を使用。

⑥ 塗面の耐久性

(1) 硬さ試験	硬度Hまたは2Hの鉛筆引っかき試験(JIS K 5600)に耐えること。
(2) 付着性試験	100/100基盤目試験(JIS K 5600)に耐えること。
(3) 耐おもり落下性試験	撃芯直径12.7mmに500mmの高さから500gのおもりを落とす耐おもり落下性試験(JIS K 5600)に耐えること。
(4) 耐塩水性試験	約20℃の3%の塩水に100時間浸す耐塩水性試験(JIS K 5600)に耐えること。
(5) 耐食性試験	5%の塩水噴霧試験法(JIS Z 2371)に500時間耐えること。
(6) 耐候性試験	サンシャインウェザーメーターによる促進暴露試験(JIS A 1415)で300時間の照射に耐えること。